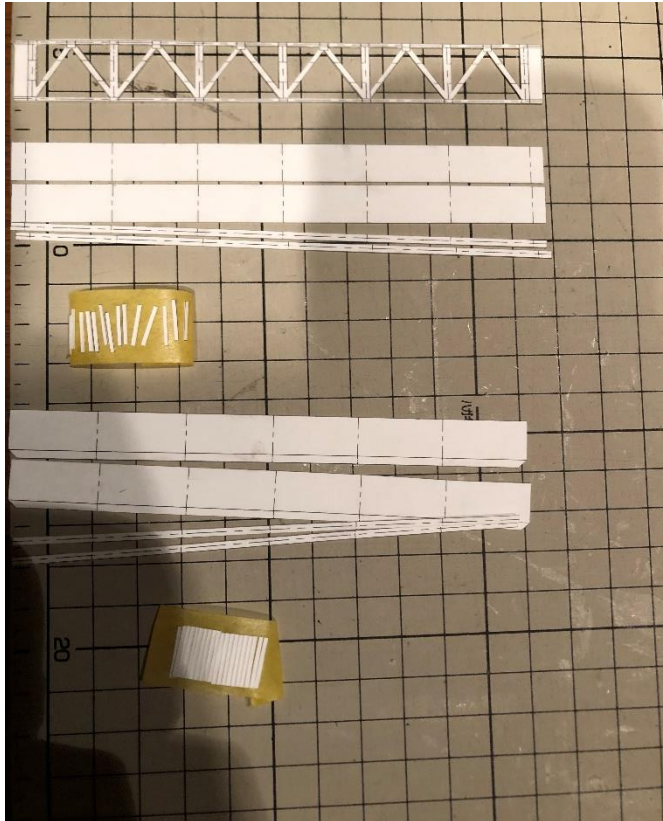


1.5 円で作る橋

58-4 K・K

夏休み中もどこかに行けるわけでもないので、今回は秩父鉄道の荒川橋梁を 150 分の 1 スケールで、紙で製作しました。

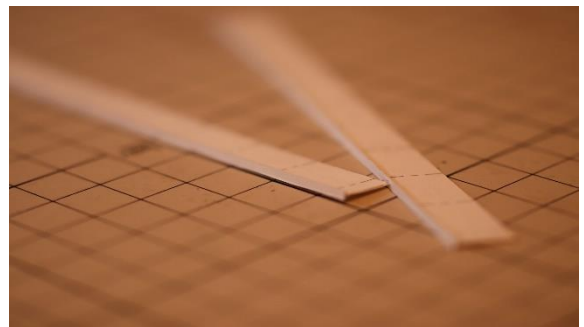


プリンターで印刷したらそれぞれのパーツを切っていきます。

←まず初めにパーツを切ります。

切ったものを左の写真の上から順に① (1個) ② (2個) ③ (2個) ④ (14個) ⑤ (2個) ⑥ (2個) ⑦ (20個) という風に名前を付けて制作手順を説明していきます。

1, まず初めに②の長いほうの辺と③の一点鎖線の辺をボンドで接着させます。



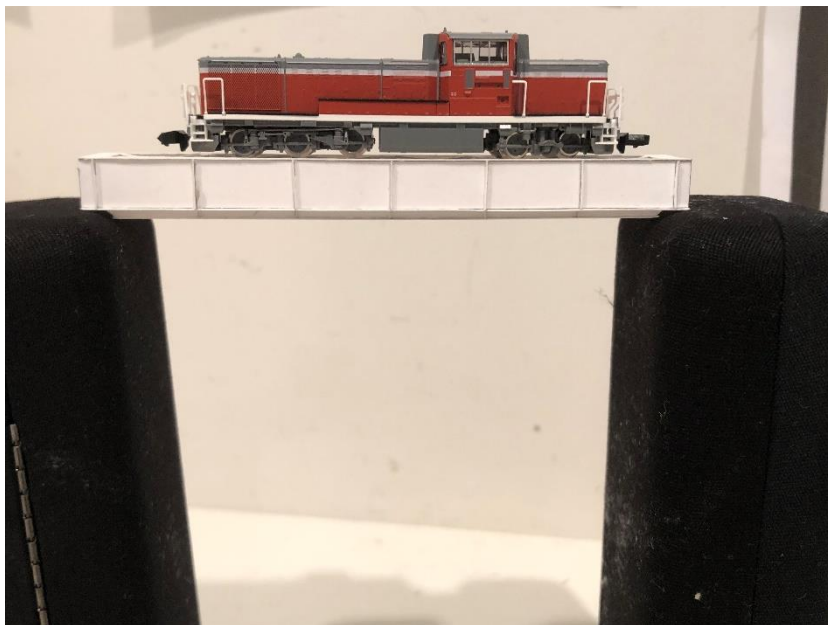
2, 次に②の一点鎖線に④をボンドでくっつけていきます。できたら同じ作業をしてこのパーツをもう一つ作りましょう。

3, ⑤と⑥も 1, 2 と同じような作業を行います。しかし先程とは違って両側に⑦を貼るので印刷面ではないほうは⑥に書いてある接着した辺ではない方の一点鎖線を参考にしながら貼ってください。

4, 1, 2, 3 でできたパーツを①に書いてある一点鎖線にそれぞれ貼ってください。1, 2 でできたパーツは一番外側に貼り, 3 でできたパーツは内側の一点鎖線上に貼ってください。

完成したらこんな感じになります

↓



Step2 塗装をする

注意: 塗装をやる時は必ず換気をするか外でやってください。シンナーを吸いすぎてシンナー中毒になりかけた人が言うのもなんですがマスクなどもしてください。親御さんが見えるところでやらないと危険です。

塗装をやる時には塗料とエアブラシとコンプレッサーなどが必要ですが、全部そろえると1万超えるか超えないかくらいの値段がしますので各メーカーで売られているスプレーを使うことをお勧めします。尚,この部誌の最後に色がほとんど一緒のスプレーや今回使用した道具などの名前を書いておくので参考にしてもらえたら幸いです。

1,サーフェイサーを塗る

サーフェイサーというのは下地のことです。塗らなくても大丈夫ですが色の統一感やパーツの透けなどをなくしてくれるので塗ったほうがいいと思います。



塗るときにエアブラシ（またはスプレー）を動かしながらやらないとムラができてしまうので注意しましょう。

塗り終わったら次は調色をしていきます

2,調色をし、色を塗る

今回はたまたま家にあったGMカラーの27番と35番を調色しようともいます。



ある程度いい色になったら塗っていきます

↑完成したのがこちら（しっかり塗れてない部分はこの後修正を加えました）

最後に

今回は橋を作るうえで使用した商品です

A4 ケント紙 1枚 (メーカーはどこでも可)

OLFA アートナイフ

OLFA カッターマット A4

Mr.HOBBY Mr.サーフェイサー1000

ガイアノーツ T-01 薄め液